

<創作活動>

貝の壁飾り



1 活動の概要・目的

ベニヤ板に貝殻をデザインして貼り、壁飾りを作る活動。

2 道具について

- (1) 種類 ・新聞紙 ・ベニヤ板 ・貝 ・砂 ・飾りひも ・きり
・紙ヤスリ ・鉛筆 ・定規 ・爪楊枝 ・木工用ボンド
・ジェツソ ・パレット ・割り箸 ・ゴム印 ・角いす



(2) 準備物の貸し出し・返却について

○ 貸し出し

- ・ 活動場所（野外学習室）もしくは台車に準備むしてある道具一式を、所員より受け取ります。その際、「貸し出し簿」へ記入をお願いします。完成品の置き場についても所員に確認してください。

○ 返却

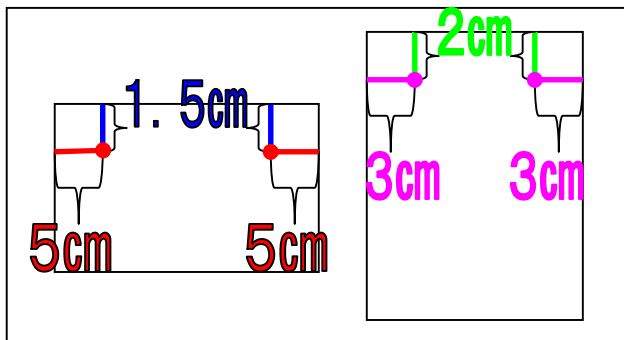
- ・ 借り受けした場所もしくは台車に返却してください。尚、団体の代表の方は、活動の終了と道具の返却について**必ず事務室に連絡してください**。「貸し出し簿」で確認します。

3 活動の手順

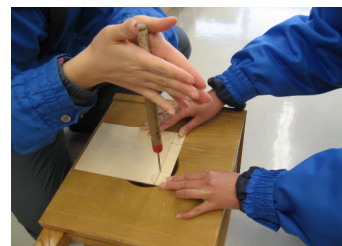


(1) 机の上に新聞紙を広げる。

(2) ベニヤ板の周りを、紙ヤスリ



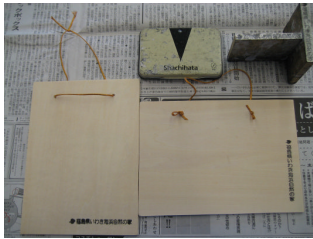
りでこすり滑らかにする。(3) 飾りひもを通す穴の場所を、定規と鉛筆で印をつける。(2人組が良い。)



(4) 角いすの穴を利用し、きりで穴をあける。



(5) 飾りひもを通す。(爪楊枝を使うと通しやすい。)



(7) ベニヤ板の表面にゴム印を押す。



(8) 板の上に貝を並べて、自由にデザインする。



(10) 割り箸を使ってジェツソで模様をつける。

(6) 板の裏に名前を書く。

(「福島県いわき海浜自然の家」) (9) ベニヤ板に木工用ボンドで貝を貼り付ける。

※必要に応じて、ジェツソの上から砂をふりかけてもよい。

※(9)(10)はどちらが先でもよい。

4 注意事項 (引率者全員で確認してください。)

○ ジェツソは粘着力のある白い絵の具のようなもので、砂粒や小さな貝は接着できますが、大きな貝は付きません。

○ ジェツソは、洋服などに付くと落ちないので注意してください。

○ ジェツソに、砂や石を混ぜないでください。(再利用できなくなります。)

○ 木工用ボンドやジェツソの乾き状態により作品を当日持ち帰れない場合もあります。(後日、着払いで依頼可。)

1人で使うもの

- ・ベニヤ板（1枚）
- ・貝（選ぶ）
- ・飾りひも（1枚）
- ・新聞紙
- ・紙ヤスリ
- ・きり
- ・定規
- ・木工用ボンド
- ・パレット
- ・割り箸

*人数により、班のみんなを使う。

班のみんなを使うもの

- ・ジェッソ
- ・ゴム印
- ・角いす

かい かべ かざ 貝の壁飾り



ベニヤ板に貝がらをデザインしてはり、壁飾りを作りましょう。

材料 ~ざいりょう~

1人で使うもの

* 数が足りない場合は、班のみんなで使いましょう。

- ベニヤ板 (1枚)
- 貝 (選ぶ)
- 飾りひも (1枚)
- 新聞紙
- 紙ヤスリ
- きり
- 定規
- 木工用ボンド
- パレット
- わりばし

班のみんなですべて使うもの

- ゴム印 (いわき海浜自然の家)
- 角いす
- ジェツソ
- つまようじ

ジェツソとは、粘着力のある白い絵の具のようなもので、

砂粒や小さな貝は接着できますが、大きな貝はつきません。



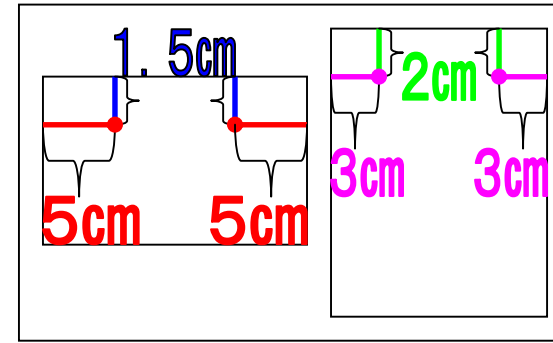
ジェツソを使うときの3つの約束

- ★ ジェツソは、少しずつ出して(出してもらって)使いましょう。
- ★ ジェツソは、洋服などにつくと落ちないので注意しましょう。
- ★ ジェツソには、絶対に砂や石を混ぜないでください。(再利用できなくなります。)

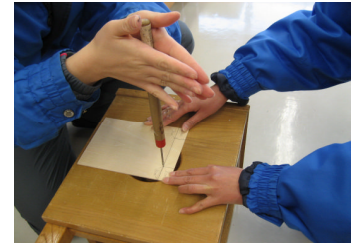
かつどう てじゆん 活動の手順



①机の上に新聞紙を広げる。



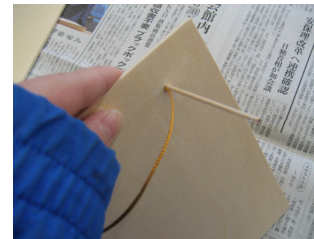
③飾りひもを通すあな(1.5cm)の場所に、定規と鉛筆で印をつける。



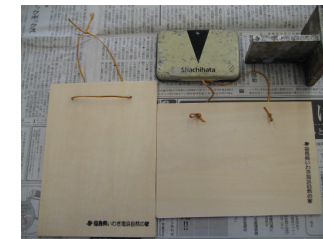
④角いすのあなを利用して、きりであなをあける。

②ベニヤ板の周りを、紙ヤスリでこすりなめらかにする。

2人組で活動すると良いよ。



⑤飾りひもを通す。



⑥ベニヤ板の表面にゴム印をおす。(「いわき海浜自然の家」)



⑧板の上に貝を並べて自由にデザインする。

つまようじを使うと通しやすいよ。

⑦板の裏に名前を書く。

⑨ベニヤ板に木工用ボンド

で貝をはりつける。



⑩わりばしを使って、ジェツソでもようを描く。

★ ⑨⑩はどちらが先でも良いよ。
★ ジェツソの上から、砂をふりかけても良いよ。